



優秀賞 (総合部門)

タイトル

ネコハウス

タイプ

持家一戸建

講評

狭小住宅において「ペットと暮らす」というテーマに挑んだ作品。小スペースでも立体的に工夫すれば空間の可能性が広がることを示している。内外装ともシンプルでモダンにまとめられており、清潔感溢れるデザイン化住宅に激賞させたのは見事。

リフォーム前後の写真

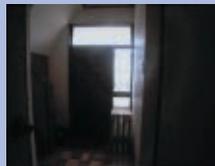
BEFORE



①外観



②1階ホール



③1階玄関



④1階DK



⑥2階和室



⑦2階和室



⑧バルコニー



②階LDK

AFTER



①外観



②1階ホール



③1階玄関



④1階主寝室



⑤ネコスペース



⑥2階LDK



⑧バルコニー



⑨和室

リフォームの動機/設計・施工の工夫点/施主の感想 など

《リフォームの目的》

- ・リフォームを前提に購入して仮の生活を始めていた築25年の木造住宅の全面改装
- ・夫婦十ネコ8匹十犬1匹の共存生活可能な住まい
- ・隣家が迫っているため、昼でも暗く圧迫感がある状態を改善したい。
- ・老朽化の激しい外観や水廻りを一新したい。

《設計の要点》

建物南面にネコ専用の抜き抜けを設け、1階から2階およびト

特に配慮した住宅性能：

データ

所在地	神奈川県相模原市	構造/築後年数	在来木造 / 25年
該当工事面積	66.83 m ²	該当部分工事費	1,200 万円
居住者構成	2人 (大人<15歳以上)	2人 子供	1人 ペット 猫8匹 犬1匹
設計者	(有) 小林真人建築アトリエ	担当者	小林 真人
施工者	成幸建設 (株)	担当者	宮原 成幸

イレを置いたバルコニーまでネコは自由に行き来する事ができる。そのネコスペースは1階は主寝室と、2階はLDKと、バルコニーは和室とそれぞれがガラス戸を介して接しており、人とネコとがそれぞれのエリアに居たままでも常に互いの存在を感じ生活をする事ができる。また、仕切りのガラス戸を、開け放つ事でネコと人の空間を完全に一体化する事ができる。来客時、留守にする時など生活のシーンに合わせて、ペットと人の領域をフレキシブルに分離/混在させることが可能なのである。

リフォーム前

リフォーム後

